

はじめに

千葉県北西部に位置し、印西地区（印西市・白井市・栄町）から排出される一般廃棄物の中間処理施設（清掃工場）である印西クリーンセンターは、千葉ニュータウンの中心地において、昭和61年から稼働開始しました。

稼働開始後は、安全・安定操業を継続してきましたが、施設の老朽化を迎えたことから、次期中間処理施設の整備が必要となり、平成25年度には新たな候補地を広く公募し、平成26年度には4箇所応募地に現在地内の建替用地を加えた5箇所の候補地を多面的かつ総合的に比較評価した結果、印西市南部に位置する「吉田地区」を建設候補地として選定されました。

なお、「吉田地区」の地元町内会である吉田区からは、一般廃棄物の中間処理施設に対する先進的な認識のもと、既に同意書が印西地区環境整備事業組合（印西市・白井市・栄町で構成する特別地方公共団体）（以下「組合」という。）の管理者に提出され、基本協定を締結しています。

次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会（以下「本検討委員会」という。）は、「吉田地区」の周辺地域における将来を見据えた地域振興策を住民参加型の取り組みにより調査審議すべく、組合附属機関条例第2条の規定に基づき組合管理者の附属機関として設置され、平成27年5月20日に組合管理者から諮問（資料編2-(1)-1ページ参照）を受けました。

本検討委員会による地域振興策の調査審議にあたっては、まず「吉田地区」及びその周辺の現地調査を行った上で、地域に求められる将来像、地域の魅力や優位点、周辺の既存施設及び地域の課題の4点を整理し、合わせて前述した吉田区の同意書に添付されている「ブレインストーミング結果等」を基礎としながら、制限などは設けず自由な発想により、調査審議を積み重ねました。

本検討委員会における調査審議の結論として、地域振興策の全体構想は、「地域まるごとフィールドミュージアム構想」と掲げ、「暮らしやすく持続できる快適なまち」「訪れたい魅力あるまち」「次世代に残したい里地里山」の具現化を図るべく、地域振興策のアイデアを大小合わせて100策抽出し、概略事業スキームの検討のほか、展開種別毎に多面的な評価を行いました。

今後の周辺住民と組合との協議及び事業実現に向け、住民参加型の取り組みにおける集大成である本答申書を有効的に活用されることを本検討委員会一同願ってやみません。

印西地区環境整備事業組合
次期中間処理施設整備事業
地域振興策検討委員会
委員長 福川 裕一